



South Miyagi Medical Center

中核だより



病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

病院方針

1. 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
2. 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
3. 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
4. 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

主な内容

「みやぎ県南中核病院」の看護師育成システムと募集状況について	② ページ
診療科紹介(1)、(2)	③ ページ
放射線治療開始について	⑤ ページ
当院の安全な医療への取り組み、耳鼻咽喉科常勤医師着任のお知らせ	⑥ ページ
中学生・高校生の中核病院見学会の報告～地元で活躍しよう～	⑥ ページ
地域医療を支える看護師を募集しています	⑦ ページ
みやぎ県南中核病院 がん患者・家族サロン「ひだまり」のご案内	⑦ ページ
栄養サポート	⑧ ページ
外来診療時間及び担当医師のご案内	⑧ ページ



「みやぎ県南中核病院」の 看護師育成システムと募集状況について

看護部長 真壁京子



天高く馬肥ゆる秋…皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて地域にとって待望の当院の救命救急センター、腫瘍センターが完成しました。すでに4月より外来化学療法室が稼働し、8月からは放射線治療が始まりました。さらに秋には当院が地域救命救急センターとして、県より認可される予定です。しかしハード面の整備は目に見えて進んでいるのですが、ソフト面の整備、特に医療スタッフの確保が進んでいない現状にあります。

医療スタッフ不足に対して、現在まず救命救急センターの重症病棟について、10名の看護師を募集しています。また、来年春に、緩和ケア病棟を開棟するために15名の看護師を募集しています。看護師確保の具体的戦略としては看護師就職説明会でのアピールに加え、看護学生の臨床実習も6校を受け入れて多くの看護学生に当院を知ってもらう機会を設けています。さらに数年後をみこして地域の中・高生への病院見学会はもちろん、育児などで看護活動のブランクがある方への研修、短時間勤務者への対応などにも取り組んでいます。

現在、全国的に看護師の就業者数が不足しており、厚生労働省でも新卒新人看護師の卒後研修を努力義務化としたり、再就職研修への取り組みを推奨し宮城県看護協会でも年2回6月、10月に受講者を募集しているところ です。

このような看護師不足は特に東北地方では顕著で宮城県においても各医療圏で看護師不足は深刻です。その中でも仙南医療圏は人口当たりの看護師数が県内でも最も少ない現状にあります。

これらの原因としては宮城県や仙南医療圏

で看護師養成学校を卒業した学生さんの傾向として一度は東京、関東方面で働くことを希望することが比較的多いことが考えられます。しかし、当院をはじめ地元で新人看護師研修をしっかりと行っている病院が多いことを記憶にとどめていただければと思います。

当院では1年間新人看護師をサポートする体制ができており、6か月間は臨床実践能力をじっくり身に付け、夜勤は10月から開始予定で、その人の成長に合わせて夜勤に入る仕組みにしています。これは県南はもとより全国的に見ても珍しい取り組みです。

厚生労働省が努力義務化している臨床実践能力習得に向けて、教育担当看護師長を中心に、研修責任者、教育担当者、実地指導者、プリセプター（相談役）、が各病棟で固定チームナーシングのもと新人看護師を支え導いていきます。

さらに今年度からは当院の各分野で活躍する認定看護師も専門的知識について教育しています。この様に新人看護師育成を病院内の全部署で認識共有できるように、新人看護師には1年間桜のバッジを肩につけてもらい、研修が終了するたびに桜の花びらが貼られていきます。研修の応援キャラクター「さくびよ」ちゃんが、新人とともに成長していくことをイメージしてつくられました。現在、新人看護師は本年度10月からの夜勤にむけてやや緊張している時期かと思いますが、先輩ナースがやさしくサポートしていく環境が整っています。地域の皆さんには地元を離れて働く看護師へ仙南地域の看護師不足を伝えていただき、一人でも多くの看護師が地元で活躍する姿を応援していただきたいと思います。



●●● 診療科紹介 (1) ●●●



循環器内科

循環器内科部長 富岡 智子

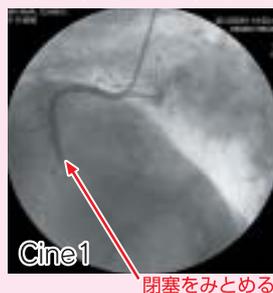
心臓病というと、突然死などの言葉が浮かぶ方も多いと思いますが、早期に発見すれば治る可能性の高い病気であることをまず知っておいていただきたいと思います。

以下、当院で行っている主な検査、治療を写真でご覧いただき、私たちが日頃行っていることをご紹介します。

緊急診療

24時間体制で、心臓緊急症（心不全、心筋梗塞、重症不整脈、大動脈疾患、肺血栓塞栓症など）の治療を行います。なかでも最も多い緊急治療としては急性心筋梗塞に対するカテーテル治療で、カテーテル治療の専門医3人を中心に、世界標準の治療を行っています。

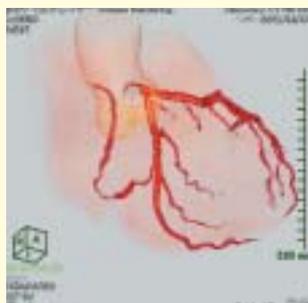
心筋梗塞に対するカテーテル治療の例



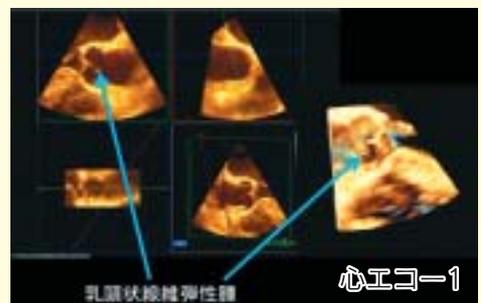
外来診療

最近では外来でも様々な検査を行うことができるようになりました。（心臓超音波検査、核医学検査、運動負荷試験、冠動脈CT、MRI、下肢動脈エコー、睡眠時無呼吸症候群の検査など）。検査入院をすることなく、ある程度の病名を確定し治療が開始できれば、皆さんの精神的負担もかなり減るものと思っています。

冠動脈CTの例



心臓超音波検査の例



おわりに

当院循環器内科は、5人の循環器専門医と若手医師の7名で、あらゆる心血管病の診療に携わっています。当院の循環器内科医師は常勤医師全てが循環器学会専門医の資格を持ち、その中でも各人が異なる専門領域を持ち、次々に開発される新しい治療方法（薬の治療も含めて）も積極的に取り入れています。中核病院の循環器内科で治療を受けて良かったとご満足いただくとともに、今後も診療の質を深めていきたいと思っています。

●●● 診療科紹介 (2) ●●●



脳神経外科

脳神経外科部長 荒井 啓 晶

脳神経外科の診療の中心は緊急性の高い脳卒中、頭頸部外傷で、その他脳腫瘍や水頭症、頭痛など多くの神経疾患が対象です。今回その中でも数多く診療している頭部外傷、特に小児の頭部外傷に関して調査解析をしました。その一部をご紹介します、皆様に知っておいていただきたい事をあげてみます。

今回の調査で2009から2011年の3年間に脳神経外科で診療を行いました20歳未満の頭部外傷434例をまとめました。ほとんどが仙南で発生した外傷です。

まず図1からは①男女ともに1～3歳が多い事。②ほとんどの年齢層で男子の受傷数が女子を上回っていることがわかります。

図2では年齢によって受傷原因が異なり、③幼少期には転倒、転落が多く、④青年期では交通事故が大きな割合を占めていること。また表1から⑤この幼少期の事故は室内、階段など多くは家庭の生活場面で起こっていることがわかります。幼少期の事故で頭蓋内の出血まで起きる大きな事故は幸い7%程度ですが、家庭内でのちょっとした注意、予防策を講じていれば、この若い年齢の頭部外傷の多くは予防出来たと思います。是非皆様の家庭内を今一度点検していただき、危険な箇所に子供が立ち入る事が出来ないよう工夫などをしていただく事が大切です。

一方、青年期では交通事故の防止が重要である事は言うまでもありません。当然交通事故による外傷は、重症化しやすく、頭蓋内損傷が生じる割合は実に1/4を占めます。家庭内、学校で交通安全について注意を払ってください。

また、幸いこの地域は暴力による外傷は少なく、家庭内暴力によるものは経験しませんでした。今後もそのような残念な事故が起きない事を願っています。

最後に頭部外傷があった場合、次の症状がみられた時は当院を受診してください。

- 頭部外傷後受診が必要な場合**
- ① 一時的でも意識がなかった場合。外傷前後の記憶がない場合。
 - ② 頭痛がひどくなってきた場合。 ③ さらに、何度も吐く場合。
 - ④ 手足に麻痺が生じて、動かせなくなってきた場合。 ⑤ けいれんが起きた場合。

このような場合は頭蓋内損傷の存在が疑われます。

逆に、上記の症状がない場合は、様子を見て大丈夫です。6～8時間様子をみてこのような症状がなければ緊急の受診は必要ありません。この様に頭部外傷では経過が重要です。この様な症状がなければ、レントゲン写真を撮影する必要性も低くなります。

図1 男女別受傷年齢

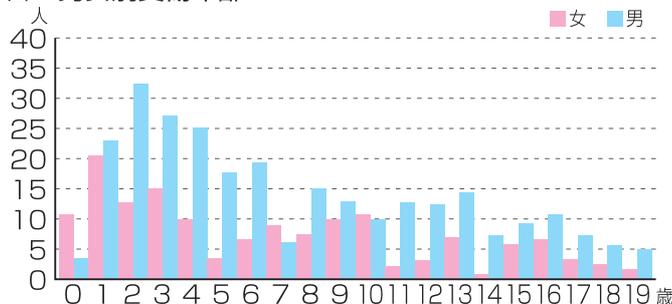


図2 年齢別にみた受傷の原因

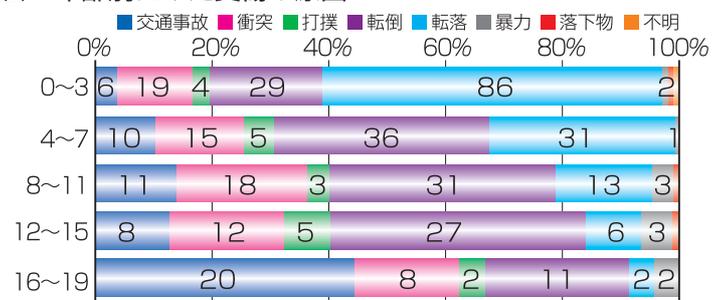


表1 乳幼児の頭部外傷の受傷場面

年齢	室内・家具	階段	抱っこ	家屋・段差	遊具	自転車	自動車	店舗・カート	室外・高所	不明	統計
0	6		3							1	10
1	11	8	3	7				1		2	32
2	5	7	3	4		3	3		1	1	27
3	2	6	2		4			1		1	16
統計	24	21	11	11	4	3	3	2	1	5	85

●●●放射線治療開始について●●●

東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野教授
放射線治療科 神宮 啓一 先生

この度、みやぎ県南中核病院にて放射線治療のための設備が整い、がん放射線治療を開始することとなりました。現在の主流である体外照射を行う最新の装置が入りました。通常の放射線治療に加え、定位放射線治療や強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療を行うこともできる装置です。県南地域では初の施設となり、これまでの放射線治療空白地帯を担う拠点となります。

近年の医工学技術の発展による放射線治療技術の向上に伴って臨床成績の大幅な改善を認め、一昔前のものとは全く異なるものとなりました。

しかし、残念ながら放射線治療医不足のため常勤医を置くことはできず、しばらくは大学病院から専門医を週1回派遣という形で行っていきます。よろしくお願いいたします。



●●●当院の安全な医療への取り組み●●●

当院は、住民の皆様が安心して医療を受けていただけるよう医療安全を推進しています。

その活動の1つとして、中核だよりに具体的な「事例」などを紹介し住民の皆様の医療安全へのご協力をお願いしています。

事例 患者さんはもともと心臓に持病があり血液をサラサラにするワーファリンという薬を飲んでいました。ワーファリンを飲んでいる方は薬の効果が弱くなるため納豆を食べられません。

今回、患者さんは胃腸の病気で入院されましたので、しばらくの間食事を摂らずワーファリンを飲まないで治療を受けました。その後、患者さんは胃腸の病気が良くなったため食事が摂れるようになり、薬が飲めるようになりました。そこで医師はお粥とワーファリンを出すことにしました。ところが医師は通常の食事を依頼したため、患者さんに納豆が提供されてしまいました。しかし、患者さんはワーファリンを飲んでいる時は納豆を食べてはいけないのに何故納豆が付いてきたのでしょうかと看護師に伝えたため、別のおかずを食べていただくことができました。

ワーファリンを飲んでいる患者さんが入院する時は医師、薬剤師、看護師がチェックして納豆禁止にしていますが、今回は入院の途中で食事が開始されたためチェックが漏れてしまいました。人間のチェックが絶対に漏れないということはないことから、その後当院では納豆そのものを食事として提供しないようにしています。

飲んでいるお薬によっては食べてはいけない食品があります。また、検査や治療によっては一旦休んでいただくお薬があります。

当院では安全で安心な医療を提供するため「人間は間違ふことがある」ことを前提に取り組んでいますが、住民の皆様のご協力も必要です。飲んでいるお薬はお薬手帳を見せてお知らせください。また、疑問に思ったことははっきりお伝えください。

●●●耳鼻咽喉科常勤医師着任のお知らせ●●●

開院以来、当院耳鼻咽喉科は東北大学病院から非常勤医師の派遣を受け週2～3回の外来診療を行って参りました。この度、平成25年10月より待望の常勤医師が着任いたします。

つきましては10月からはまず外来枠を拡大いたします。その後、準備期間を経て入院診療にも対応出来るように体制を整えて行く予定です。これまで通り、かかりつけ医からの紹介を経て当院耳鼻咽喉科をご利用いただきますようご案内申し上げます。



●●● 中学生・高校生の中核病院見学会の報告～地元で活躍しよう～ ●●●

総務課長 鈴木 悟

当院では、昨年に続き今年も8月20日に、中学生、高校生を対象に病院見学会を実施しました。医師や看護師等の医療職に関心のある27名が参加しました。

初めに、貫和企業長、内藤院長の挨拶があり、「地元で働く医療スタッフの必要性」を熱く語りました。次に、若い4人の職員（研修医、看護師、薬剤師、検査技師）より体験を交えての講話がありました。仕事の内容のほか、「夢があるから頑張れる」など仕事に取り組む姿勢などが語られました。

施設見学では2班に分かれ、第1班は、手術室、放射線治療室、検査室、薬剤室等をじっくり見学してもらいました。第2班は、施設見学後に手術の縫合体験をしてもらいました。外科医になったつもりでの縫合は縫い口が綺麗で初心者にしては素晴らしい出来でした。

最後に、貫和企業長と内藤院長と懇談をし、施設見学の感想文を書いてもらいました。

多くの生徒に参加頂きありがとうございました。この事業は来年以降も継続予定ですので、医療に興味のある生徒は、是非ご参加下さい。



参加生徒の感想文

角田中学校生

今回の見学会はとても勉強になりました。病院内の施設を見学させてもらったり、縫合の体験をさせてもらったり、病院で働く人の話を聞かせてもらいました。

研修医の先生や看護師さんの話が特に参考になりました。医師や看護師になるために目標に向かっての努力を決してあきらめない根気が必要だと思いました。病院内を見学して、よく表には出てこないけれど大切な仕事もあることが分かりました。そして、縫合の体験は難しかったです。うまく結んで留めることが出来ませんでした。人の肌を縫うときはもっと大変なんだろうなと思いました。

私は将来看護師になって東京で働きたいと思っていましたが、今日の話聞いて、将来は地元から離れずに看護師として働きたいと思いました。



●●● 地域医療を支える看護師を募集しています ●●●

副看護部長 佐藤 睦子

仙南地区は宮城県の中でも、人口あたりの就業看護師数が少ない地域です。その中で病院職員は、救命救急やがん医療の中核となる病院を「私たちが支える」という強い意志を持って従事しています。救命救急センター、腫瘍センターが開設しましたが、重症病棟の充実および緩和ケア病棟を開棟させるにはさらに多くの看護師が必要です。

地域の皆様に、より質の高い医療・看護を提供するために、一緒に地域に貢献してくれる方を募集しています。福利厚生や卒後教育の充実した職場環境です。子育てが少し落ち着いた方やブランクのある方、看護学生さん、自分たちの地元地域で一緒に働きませんか。

どのような看護を行っているか実際にみていただけるよう病院見学会を実施しています。また、実際に勤務している看護師に聞いてみたいことなどがあれば質問タイムを設けています。「百聞は一見にしかず」是非一度見学にいらしてください。



先輩看護師の声：この病院を選んだ理由

私はこの地域で生まれ育ちました。そしてたくさんの方々との出会い、色々な方々に支えられ、看護師という道に進むことができました。

そこで、私が学んできた知識や技術をこの地元で発揮し、幼少から過ごした町や今まで関わってくださった方々に地域貢献という形で恩返しをしたいと思い、この病院に就職しました。

(2013採用 看護師 秋山)

●●● みやぎ県南中核病院 がん患者・家族サロン「ひだまり」のご案内 ●●●

がんで療養中の方やそのご家族は、病気についての様々な悩みや思いがあります。その悩みを誰にも話せず、一人で抱え込んでいませんか？

がん患者・家族サロン「ひだまり」は、がんで療養中の患者さんをご家族の方々の交流の場としてスタートしました。

病気や治療のことについての思いや考え、情報を共有する場です。不安や悩みを共有することで、少しでも気持ちが軽くなるようなサロンを目指しています。どうぞお気軽にご参加ください。



活動について

- ◆開催日時：1～2ヶ月に1回・曜日不定・14:30～16:00
※随時外来掲示板に掲載します。
- ◆会場：みやぎ県南中核病院 2階食堂
- ◆対象者：仙南地域在住でがんで治療中・療養中の患者さん、ご家族の方
- ◆お申し込み：準備の都合上、事前の申し込みをお願いします。
お電話もしくは専用の申し込み用紙をご使用ください。
- ◆活動内容：患者さん・ご家族の方同士の語り合い、情報交換を中心に、院内でがんの診療に携わっているスタッフによるミニ講話も予定しています。

問い合わせ先

みやぎ県南中核病院
がん診療相談支援室
医療ソーシャルワーカー さとうにいな 佐藤新奈
TEL: (0224) 51-5500 (代)
FAX: (0224) 51-5515
E-mail: gan-soudan@southmiyagi-mc.jp

●●● 栄養サポート ●●●

きのこのマリネ



キノコは炒めものやシチューなど和・洋・中に幅広く利用できる食材です。食物繊維も多く便秘予防にもなります。今回はたっぷり食べられるようにマリネにしました。どうぞ、お試しください。

栄養量(1人前)

エネルギー 24.5kcal たんぱく質 1.6g
カリウム 149mg 塩分 0.5g

材料(4人前)

舞茸……………半分(50g) 生椎茸……………2個(20g)
シメジ……………半分(50g) えのき茸……………半分(50g)
サラダ油…小さじ1 日本酒……………大さじ1
ゆず1個(皮と果汁)
……………皮1cm幅に削いで半分、果汁は一個分
穀物酢……………大さじ4 めんつゆ……………大さじ1

作り方

- ① 舞茸とシメジは石づきを落とし水洗いをして食べやすくほぐす。
- ② 椎茸は石づきを取り、水洗いをして千切りにする。
- ③ えのき茸は石づきを落とし、水洗いをして2cm位に切る。
- ④ フライパンにサラダ油を熱しキノコを全部一緒に入れ炒める。日本酒を入れてふたをして、キノコがしんなりするまで煮ます。
- ⑤ 火を止めて、めんつゆ・穀物酢・ゆずの絞り汁・ゆずの皮の千切りを混ぜればできあがりです。



一口栄養
メモ

きのこ

栄養学的にはビタミン類やミネラル、食物繊維が多く、特に亜鉛、ナイアシン、ビタミンDを多く含みます。また、βグルカン等は体の免疫力を高めるなど、様々な効果があるとする研究もなされています。



〔栄養管理室〕

《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2013年10月予定

診療科		受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病	8:00~11:00 (9:00~)	坂田芳之	金子慶三 (非常勤医師)	坂田芳之	非常勤医師	×
	甲状腺 (第1・3・5金曜)	9:30~11:00 (10:00~)	×	×	×	×	中村はな (非常勤医師)
		13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	×	×
	リウマチ・膠原病	13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	×	佐藤 仁	×
		8:30~11:00 (9:00~)	×	×	藤井博司 (非常勤医師) 第2・4水曜	×	×
		13:00~15:00 (13:30~)	×	×	×	×	×
		13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	×	佐藤 仁	×
	腎臓病	9:30~11:00 (10:00~)	×	×	山本多恵 (非常勤医師)	×	×
13:00~15:00 (13:30~)		×	×	×	×	×	
循環器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子	塩入裕樹	井上寛一
	再来		塩入裕樹	井上寛一	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子
消化器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢	阿曾沼祥	飯岡佳彦	玉川/高橋/三浦	大沼 勝
	再来		大沼 勝	三浦雅人	梅村 賢	阿曾沼祥	飯岡佳彦
	肝臓(紹介のみ)		×	×	×	×	三浦雅人
腫瘍内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	二井谷友公	杉山/工藤	杉山/工藤	二井谷/工藤	杉山/工藤
	再来		杉山/二井谷/工藤	工藤/二井谷	工藤/二井谷	杉山/非常勤医師	工藤/二井谷
呼吸器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	綿貫善太	岡田信司 大河内真也 (非常勤医師)	岡田信司 佐藤輝幸	綿貫善太
	再来		×	×	×	×	×
神経内科	新患(予約優先)	8:00~11:00 (9:00~)	望月 廣	望月 廣	望月 廣	澁谷 聡	望月 廣
	再来		菅野重範	澁谷 聡	澁谷 聡	望月 廣	及川崇紀
外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	廣澤/吉田	前田/後藤	赤田昌紀	上野達也	佐藤 俊
	再来		赤田/高橋	上野達也	佐藤/廣澤	前田晋平	後藤慎二
	呼吸器外科 第1・3・5火曜 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	非常勤医師	×	×	×
	血管外科 第2・4木曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	非常勤医師	×
	ストマ外来 第1・3木曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	内藤広郎	×
肛門外来 (紹介のみ)	9:00~10:30 (9:00~)	×	×	上野/内藤	×	×	
脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	×	荒井啓晶	荒井啓晶	荒井啓晶	
整形外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	×	橋本禎敬	×	小暮敦史	二宮忠明
	再来		二宮/小暮/橋本	小暮敦史	×	二宮忠明	橋本禎敬
形成外科	8:00~11:00 (8:30~)	澤村/泉山	澤村/泉山	澤村/泉山	×	澤村/泉山	
皮膚科	新患	8:00~11:00 (8:30~)	×	東條/笹井	非常勤医師	東條/笹井	笹井 収
	再来		×	×	×	東條玄一	
小児科	一般 (午前)	8:00~11:00 (8:30~)	大原/堀野	二瓶/大原	木越/堀野 非常勤医師	二瓶/木越	大原/堀野 非常勤医師
	一般 (午後)	15:00~16:00 (15:00~)	大原/堀野	二瓶/木越	木越/大原	二瓶/木越	堀野/大原
	心臓外来	13:00~15:00 (13:30~)	×	大原朋一郎	×	×	×
産婦人科	一般	8:00~11:00 (9:00~)	戸澤秀夫	立花真仁	戸澤/非常勤医師	立花真仁	戸澤秀夫
	妊婦健診		立花真仁	戸澤/非常勤医師	立花真仁	戸澤秀夫	立花真仁
泌尿器科	8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	川村裕子	川村/ 非常勤医師	和泉卓司	
眼科	13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	非常勤医師	×	
耳鼻咽喉科	8:00~11:00 (9:00~)	新川秀一	新川秀一	×	新川秀一	新川秀一	
歯科口腔外科	一般 (午前)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚
	一般 (午後)				×		
	口腔顔面痛外来 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	千葉雅俊 (非常勤医師)第2水曜	×	×

●緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。 ●原則として電話による新患の予約受付はいたしておりません。

●他院からの紹介状をお持ちの方のみ、電話での予約を受け付けています。

受付は、平日の午後2時から4時まで(地域医療連携室 TEL.0224-51-5526)。

●予約変更の受付は、下記病院代表番号まで平日の午後2時から4時の間にご連絡下さい。

この時間帯については、変更となる場合がありますのでご了承ください。

みやぎ県南中核病院 〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1 TEL.0224-51-5500(代表)